



MESSAGE NOTES

福音を分かち合う

人間関係の中での伝道

マタイの福音書 28:18-20

ロイド フラハティ

人間関係の中での伝道とは、私たち KBF が、家族や友人、同僚、同級生、また世界中に忠実に福音を広めるために行っている自然なアプローチでの伝道です。

1. 人間関係の中から

イエス様は弟子たちに「行って、あらゆる国の人々を弟子にしてください」と命じられました。人々を弟子にするということは、自分の信仰とキリストの教えを、個人的な関係性の中で他の人々と分かち合うということです。

マタイの福音書 28:18-20 18 イエスは近づいて来て、彼らにこう言われた。「わたしには天においても地においても、すべての権威が与えられています。19 ですから、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としてください。父、子、聖霊の名において彼らにバプテスマを授け、20 わたしがあなたがたに命じておいた、すべてのことを守るように教えなさい。見よ。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます。

2. オープンで心のもったコミュニケーション

コリント人への手紙 第二 6:11-13 11 コリントの人たち、私たちはあなたがたに対して率直に話しました。私たちの心は広く開かれています。12 あなたがたに対する私たちの愛の心は、狭くなってはいません。むしろ、あなたがたの思いの中で狭くなっているのです。13 私は子どもたちに語るように言います。私たちと同じように、あなたがたも心を広くしてください。

この手紙の中で、パウロは自分の気持ちを率直に語り、コリントの信徒たちにも同じようにするよう求めています。オープンな心のもったコミュニケーションは、人間関係を築き、信仰を分かち合うことの一部なのです。

3. 苦勞や困難を分かち合う

ヤコブ 5:16 は、信じる者たちが罪を告白し合い、互いのために祈り合うよう強く勧めています。これは、人間関係の中での伝道において、各々が自分の抱えている問題をオープンにし、祈りと導きによって互いに支え合うことのできるコミュニティを作ることができることをでもあります。信仰を分かち合う重要な要素として、信頼関係を築き、困難や失敗などの人生経験を分かち合う大切さを強調しています。

ヤコブの手紙 5:16 ですから、あなたがたは癒やされるために、互いに罪を言い表し、互いのために祈りなさい。正しい人の祈りは、働くと大きな力があります。

人間関係の中での伝道とは、人間味のない事務的なやり方とは対照的に、個人的で信頼できる人間関係の中で信仰を分かち合い、実践していくことです。それは、心を開いてコミュニケーションを取り、心のガードを緩め、他の人の霊的な健康を気に掛ける純粋な思いを必要とします。